

「日経オンライン展示場」を開発

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田直敏）は、2020年10月にオンライン展示会システム「日経オンライン展示場」をリリースします。新型コロナウイルス感染症の影響で相次いだ産業展示会の中止で失われたビジネス情報の交流・商談の「場」を創造するシステムとして、日本経済新聞社が独自開発しました。

11月25日から開催の「SDGs Week（エコプロ、社会インフラテック、気候変動・災害対策 Bizなどの展示会で構成）」を皮切りに主催イベントで導入を開始します。オンライン展示会により新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、かつ場所と時間の制約を受けない展示会の開催を行います。リアル開催の展示会とのハイブリッド開催も可能であり、出展者・来場者の双方に新たな展示会体験を提供します。

本システムは、日経主催イベントの利用だけではなく、外部へのサービス提供も進めていきます。すでに11月中旬に開催予定の日本国際工作機械見本市のオンライン展示会「JIMTOF2020 Online」（主催：日本工作機械工業会／東京ビッグサイト）への採用も決定しています。

大型ビジネスイベントを数多く実施してきた日経グループが、展示会運営から事務局業務までを一括して提供するほか、紙面などによる開催告知で質の高い来場者集客サービスも提供していきます。



日経オンライン展示場の特徴

1. 名刺交換機能など多数の情報交流機能を搭載

オンライン展示会来場者と出展者が相対で、あたかもリアル展示会で名刺交換をしているかのように情報交換ができる「名刺交換機能」を搭載しています。

出展者のライブセミナーを配信する機能や、チャットによる双方向コミュニケーションを行う機能、アンケートを行う機能なども搭載しており、展示会参加者の積極的な情報交流を支援します。

2. シンプルでわかりやすいデザインを採用

日経オンライン展示場システムには、シンプルでビジネス情報に最短距離で接触できるデザインを採用しています。多くの出展者情報をストレス少なく閲覧することができます。

3. 多数のコンテンツを掲載可能

オンライン展示会の各出展者の「ブース（各出展者のページ）」には、製品・商品の情報やプレゼンテーション動画などの多数のコンテンツを掲載可能です。これらのコンテンツは出展者側の設定で「名刺交換」を条件に来場者が閲覧できるようにすることが可能です。

4. 出展者は簡単な操作で「自社ブース」を画面上に生成

出展者は、コンテンツ・マネジメント・システム（CMS）と呼ばれる管理画面を通して、簡単な操作でリアルタイム・プレビュー画面をみながら、自社のオンラインブースを作り上げることができます。

5. 多くの展示会を成功させてきた日経グループが運営から事務局まで一括管理

多くの展示会運営を手掛けている日経グループのイベント会社「日経イベント・プロ」がシステム運用を行い、イベント主催者に向けて、事務局業務までを含めた「オンライン展示会」の一貫したサービスを提供します。

また、日本経済新聞の紙面やメールニュースなどを通じた周知活動を行うことで上質なビジネスパーソンをオンライン展示会に誘致します。

【日経オンライン展示会システム 主なページと搭載機能】

1. イベントトップページ：主催者講演会配信機能 来場者登録機能 ほか
2. 展示会ページ：出展者紹介機能 出展者ライブセミナー開催告知機能 ほか
3. 出展者ページ：来場者と出展者の名刺交換機能 ライブセミナー配信機能 動画掲載機能 アンケート機能 製品情報掲載機能 カタログ等データ掲載機能 来場者と出展者のチャットによる双方向コミュニケーション機能 ほか
4. 管理画面：プレビューを見ながら簡単にコンテンツの編集が可能

日経オンライン展示場の出展者ページ画面レイアウトの例。

シンプルなデザインで、出展者の製品・商品情報と来場者を最短距離で結びます。※写真やテキストはダミーです。

【システム利用に関するお問い合わせ】

株式会社日経イベント・プロ 営業局 (03) 6812-8752

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は現在約206万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は80万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)